

下妻中学校新校舎の基本設計がまとまりました 安心安全で地域から愛される学校づくりを目指して



新校舎完成イメージ

平成30年春に開校予定

配置平面計画の基本的な考え方

新校舎の建設は、既存校舎を利用しながら進める計画とし、次の点を考慮しながら設計を行いました。

- ① 生徒の登下校や活動範囲と、教職員や給食材料等の搬入の車両が交差しないよう明確に分離し校内の安全性を確保します。
- ② 防犯の観点から職員室を校舎南面に配置し、できる限り見通しを確保します。
- ③ 既存グラウンドを生かしながら、できる限り広いグラウンドを確保します。
- ④ 体育館の地域開放を想定し、第一体育館の近くに来客用駐車場を確保します。
- ⑤ 工事範囲を既存校舎から明確に分離し、生徒の安全な学習環境を確保します。
- ⑥ 生徒の日常空間である普通教室を南側に配置し、共用スペースを挟んで特別教室を北側に配置します。

- ⑦ 図書室とコンピュータ室からなるメディアセンターを学校の中心に配置し、全学年に対して利便性の高い計画とします。
- ⑧ 美術、技術、家庭科室はまとめて配置し、創作エリアとします。
- ⑨ 大地震の際にも損傷を最小限に抑え、震災後も建物を継続して使用できるように、耐震壁をバランスよく配置します。

今後のスケジュール

平成27年度は、基本設計を基に、さらに具体的に詳細な実施設計を行います。

平成28年度から29年度にかけて建設工事を実施し、平成30年春の開校を予定しています。
その過程では、多くの方々からの意見を伺いながら、安心安全で地域から愛される学校づくりを進めます。

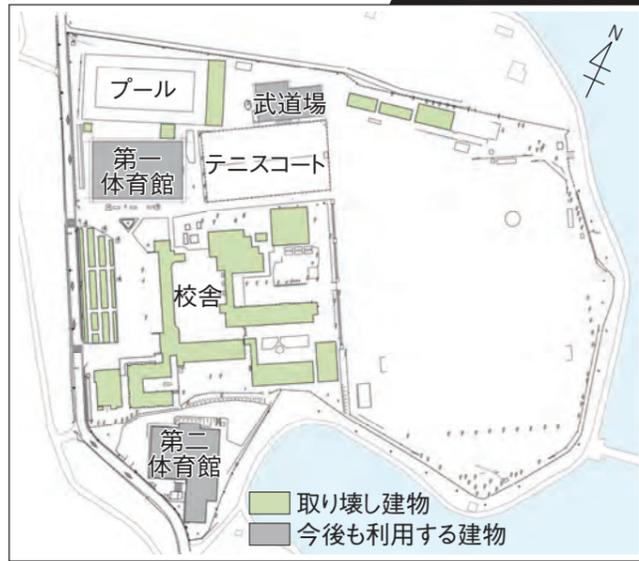
問い合わせ
学校教育課 施設係 ☎ 45-18994



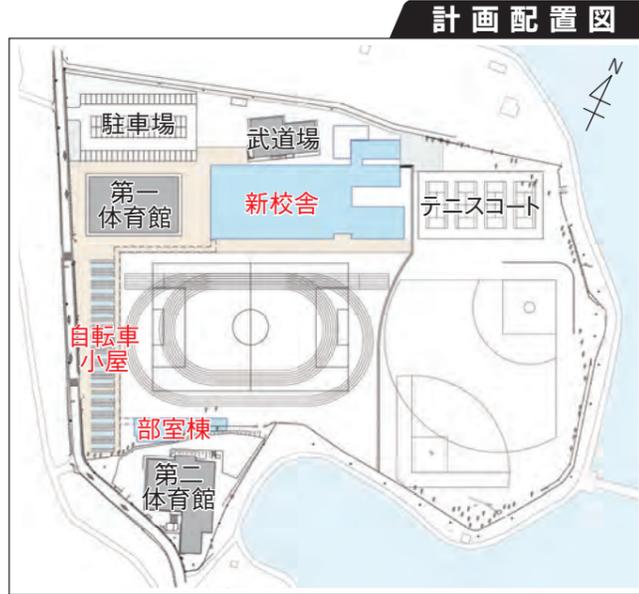
完成イメージ

- ① 生徒の日常空間である普通教室を南側に配置し、共用スペースを挟んで特別教室を北側に配置します。
- ② 防犯の観点から職員室を校舎南面に配置し、できる限り見通しを確保します。
- ③ 既存グラウンドを生かしながら、できる限り広いグラウンドを確保します。
- ④ 体育館の地域開放を想定し、第一体育館の近くに来客用駐車場を確保します。
- ⑤ 工事範囲を既存校舎から明確に分離し、生徒の安全な学習環境を確保します。
- ⑥ 生徒の日常空間である普通教室を南側に配置し、共用スペースを挟んで特別教室を北側に配置します。

配置図



現在の配置図



計画配置図

施設の概要

学校敷地	50,787㎡
グラウンド	28,818㎡ サッカー場1面、野球場1面 ソフトボール場1面 テニスコート4面
駐車場	80台分

下妻中学校の新校舎は、鉄筋コンクリート造3階建てとし、現在のテニスコートとグラウンドの一部に建設します。現在の校舎や給食室がある場所は整地してグラウンドとして使用します。
新校舎や既存施設の第一体育館、武道場等の建物を中学校敷地の北側に集中することで、グラウンドが現在の約1.5倍の広さとなり、

構造	鉄筋コンクリート造3階建て
床面積	校舎 7,730㎡ (給食室含む) 部室棟 795㎡ (部室15室、体育倉庫、2階卓球場含む)
諸室	普通教室18室 特別支援教室5室 特別教室10室 (理科室、音楽室、美術室、技術室、家庭科室、図書室、パソコン室、多目的室等) 管理諸室4室 (職員室、校長室、会議室、保健室)

さらに駐車場も整備します。砂沼や筑波山を望む恵まれた景観を生かしながら、安心安全な学習の場となる計画としました。

平成30年春に新校舎での開校を予定している下妻中学校改築事業。平成26年5月から市議会議員、地域の代表者、PTA役員、知識経験者、学校の教職員や市職員等で組織された下妻中学校建設委員会により、建設の基本となる考え方を整理してきました。今月号では、同委員会の考え方を基に行った基本設計の概要を紹介します。